

研修報告

「今知りたい デンマークの社会システム」

研修日時：2010年5月9日

研修場所：埼玉会館2階ラウンジ

講演1 デンマークにおける女性の政治参加

講師：ミドルファート市副市長 ハンナ・ラオウリセン

デンマークは議会の中から市長・副市長が選ばれるため、議員の一番多い社会民主党から市長、連立を組んでいる社会人民党から副市長が選出される。市長はフルタイムであり、議員は職業を持っているため、議会は仕事が終わった後、夜に開催され、議員報酬は時間給である。国会議員は100万円/月であり、市会議員をしながら国会議員をすることもできるが、政党によっては禁止しているところもある。また、デンマークの内閣の半分は女性である。

男女共同参画、男女平等の考えであり、女性も兵士になれる。性の違いにより差別が生じないようにしている。日本の鉄道で行われている、女性専用車などは考えられない。共働きが多く、保育園や委託保育、学童保育などは充実している。また、委託保育は育児の経験があればあずかることができ、委託保育料は4万円、保育園では6万6000円の保育料がかかる。

最低賃金は時間給2060円であり、毎年60円ずつ上がるが最低賃金で働いているデンマーク人はほとんどいない。出稼ぎなどの他の国の労働者である。労働時間は週37時間である。労働組合は67の組合があり、ほとんどの職業に組合がある。以前はほとんどが組合員であったが、今は組合員にならない人も多い。また、組合員には、失業保険をもらえる組合員と名前だけの組合員の2つがある。

講演2 デンマークの学校、教育の義務

講師：国民学校校長 ローナ・ホルム・アンデルセン

デンマークの公立学校は1600校、生徒数は60万人、1クラス平均19.5人、教師一人当たりの生徒数は10.7人である。教師は67%が女性で47%は45歳以下であり、1つの学校に定年まで勤められるため、自分で希望しない限り異動は無い。

60万人の生徒の内、1万人の生徒は特別支援教育を受けているが、ほとんどは普通の学校で行われている。生徒の状況によっては、特別支援学校が存在するが、広い教育環境で学ぶことができるようになっている。十人十色、お互

いに学びあうことが大切であり、人の違いを理解してさらに発達できるようにしている。教育は国民学校法に基づいて行われているが、1条に子供の発達は学校と親との共同作業であり、高等教育の動機づけ、子供の想像力を高める教育、自分自身の可能性と自信を持てる教育、社会の中で助け合い民主主義とは何なのかを教えるとある。

学校は6歳から（0～3歳は保育園、3～6歳は幼稚園）で、入学4カ月前から準備期間として学校での生活を経験し、相互理解（学校と家庭）や規律などを遊びを通して教える。その1つとして、食事作りなどがある。新学期は8月からで、1年目は0学年で幼稚園クラスとして数字やアルファベットなどを教え、最大5つ位の文章が作れるようになる。1年からいよいよ教育、国語、算数などを教え、3年では英語、6～7年ではドイツ語、9年ではフランス語も選択できる。日本では義務教育として9年間だが、デンマークは教育の義務として10年間である。また、10年生があり次の過程にうまくいけるようになっている。

高等学校（進学や実業高校など4つに分けられる）と職業訓練学校（高等学校に行かない人）の2つがあり、54%の人が高等学校に進学、26%の人が職業訓練学校に進学する。知的障害者などを含め20%の人は進学しないが現在、95%の人が教育を受けられるように取り組んでいる。高校に進学しても国の統一試験があり、合格しないと卒業したと認められない。高等学校や職業訓練学校の上に大学及び上級専門学校がある。

低学年は1日5時間（1時間は45分）、7時50分～12時30分、年間40周であり、学校が始まる前にも学童保育がある。科目は国語、算数、自然科学、英語、ドイツ語、歴史、宗教、音楽、芸術、料理、裁縫、木工、家庭、ホームルーム（民主主義を教える）。

子供の発達は親と共同であり、学校運営委員会は親、教師、生徒の代表で構成されているため、親が積極的に行事に参加、バックアップをするので、親との連帯・共同は生徒と一緒にある。また、通知表は無く年2回面談がある。

講演3 世界一幸せな国デンマーク

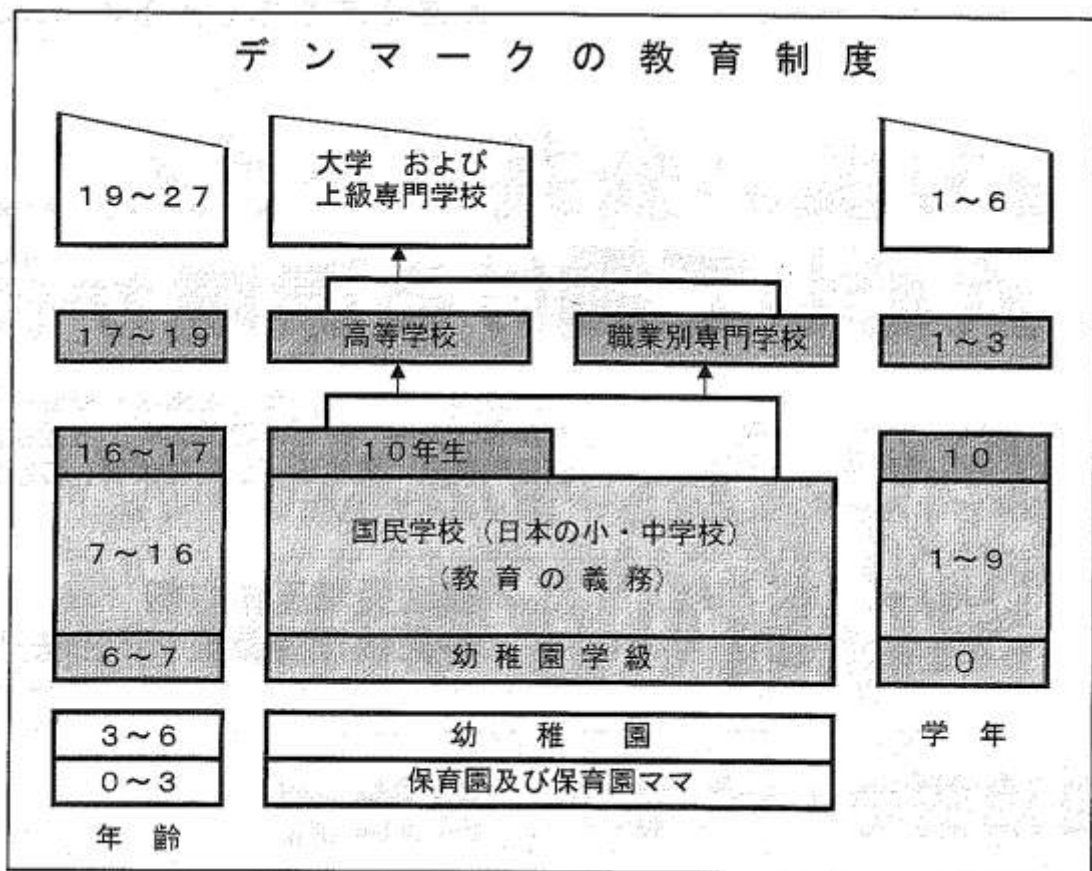
講師：日欧文化交流学院長 千葉 忠夫（岩手県出身）

幸せとは？福祉の方程式、幸せな国＝生活しやすい国＝生活大国（ゆりかごから墓場まで）＝社会福祉国家（老人や障害者、弱い立場の人でも安心して生活できる国）。デンマークは国民全員が医療費は無料、国民全員に家庭医がいる。一人の家庭医が1500人～2000人を担当している。また、国民に安心してもらえる事であり、教育費は無料、入学金・授業料無料、障害者に対する支援（個人負担ゼロ）、高齢者（65歳以上）は国民年金の掛け金なしで、基礎年

金10万8000円が男女同額、収入に関係なくもらえる。国民全員にケースワーカーがいて、一人で1500人~2000人担当している。また、葬儀代や墓場も保障されている。

民主主義（主権在民）は皆さんが決めることで、デンマークの国会議員の投票率は90%、地方議員でも75%以上ある。民主主義は自由、平等、博愛であり、検算してみると自由とは義務を果たすことであり、平等とは性別・社会・学校など差別のないこと、博愛とは共生・連帯である。デンマークには寝たきり（寝かせたきり）などということはない。この国に生まれて良かったと思う国が幸せな国で位置関係を同じで話せること、価値観を尊重しながら話せることが平等である。

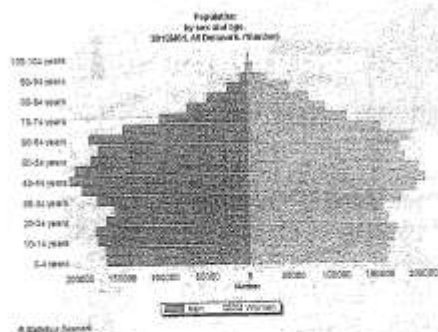
経済大国は競争原理であるが生活大国は教育である。教育の仕方として、良いところは残し、学歴社会は変える必要がある。これも、主権在民であり、国民が選ぶことである。福祉にはお金が掛かるが、どこから出すかということになるが、デンマークは直接税50%、消費税25%であり、高福祉高負担と言われているがデンマーク人は高負担と感じていない。出すものは出す、自分で貯金しているのではなく、国に貯金をしている。困っている人に分配する。



日本・デンマークのデータ比較

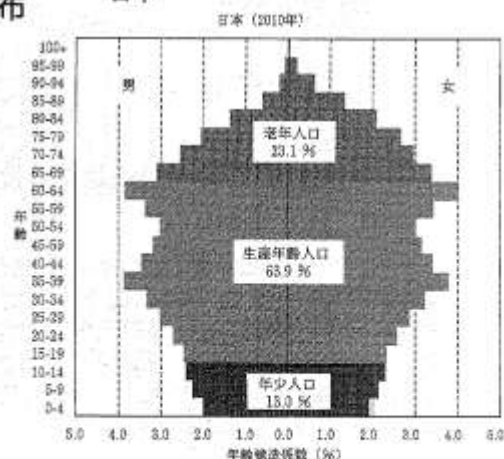
項目		デンマーク	日本	備考
幸福度		1位	90位	2006年発表
貧困率		4.30%	15.30%	2006年
出生率		1.80	1.26	2005年
国政に占める女性議員率		38.0%(2007年)	11.3%(2009年)	
投票率		86.59%	58.63%	2007年
労働組合組織率		87.4%(2003年)	18.5%(2009年)	
税率	最高所得税率	59.0%	40.0%	
	消費税	25%	5%	
食糧自給率		107.30%	27.00%	穀物
失業率		3.8%(2007年)	4.9%(2010年4月)	
医師数(人口10万人対)	日本平均		143.9人(2009年)	
	群馬		130.0人	
	栃木	293.0人(2004年)	143.2人	
	茨城		112.1人	
	埼玉		99.5人	

デンマーク



人口分布

日本



資料) 国立社会保障・人口問題研究所 (2007)